

日本OECD共同研究 概要書

「日本OECD共同研究」は、東京学芸大学教育インキュベーション推進機構内に事務局を設置し、OECDからの協力を得て、国内外の多様な学校（教師、生徒・学生）、大学、自治体、教育委員会、研究者、企業、省庁、NPO 等と協力しながら、産官学連携での運営を目指しています。日本国内を中心に取り組む国際共創プロジェクト「壁のないあそび場-bA-」と、海外との共創を中心に取り組むOECD Education2030「プロジェクト∞無限大」の2つの柱で取り組んでいます。

1. 国際共創プロジェクト「壁のないあそび場-bA-」

「壁のないあそび場-bA-」では、OECD ラーニングコンパス（学びの羅針盤）で提案されているように、生徒・学生たちがエージェンシーを発揮し、2030 年の世界を豊かに生きていけるよう、教育の目的、学校の在り方の本質を問い合わせていきます。また本学は、教員養成フラッグシップ大学として、この共同研究を通して、日本のこれからの中学校教育を担う教師の育成を先導し、世界とのつながりの中で教員養成の在り方自体の変革を、リードしていきたいと考えています。

「壁のないあそび場-bA-」は、東日本大震災の復興支援事業であるOECD東北スクール(2012-2014)の後継プロジェクトです。東北スクールのスピリットである「過去を超える、常識を超える、国境を超える」を引き継ぎ、更に東日本大震災から10年の節目の2021年3月に開催された、OECDと福島大学による共同開催（東京学芸大学協力）ワークショップ「あれから。これから。」と、2022年3月にOECDと東京学芸大学により「壁を超える」をコンセプトに開催されたワークショップがもとになり、デザインされています。

国内外の生徒・学生、教師・学校、大学、自治体・教育委員会、NPO、企業などが、「座」を構成し、いじめ、不登校、受験のプレッシャー、教師の過重労働など、現在の学校や社会の様々な課題に対して、これまでの“あたりまえ”や“常識”により生まれている様々な立場、偏見、価値観などといった“壁”を一度取り払い、新しい未来の教育のカタチを、今の時点で実装し、それを多様なメンバーでインパクト評価することで、次の教育政策に活かしていくことを目指しています。

2. OECD Education2030 プロジェクト∞無限大

OECD Education2030「プロジェクト∞無限大」は、OECD Education2030により加盟国との連携のもとで推進される国際的な「project-based learning」の取り組みで、日本とカナダの学生の声から始まりました。異なる国（世界24カ国・地域から112校が参加）の生徒たちが、OECDラーニング・コンパス（学びの羅針盤2030）を手に、自らの無限大の可能性を信じて、より良い未来を共創する実践に取り組みます。

この実践を通じて、2030年の世界を豊かな未来へと創造できる教育の実証研究（「カリキュラム開発」と「新しい評価」など）を行います。「Well-beingあふれる学校」や「学校のウェルビーイング」を目指し、異なる国の生徒たちが国際共創を行います。日本では、2022年にポルトガル、ウクライナ、イタリアの学校とのパイロットを開始し、2023年4-5月には、プロジェクトに参加する学校と研究パートナーの公募を行い、プロジェクトのコミュニティづくりと海外との国際共創を支援してきました。

3. これまでの主な取り組み・経緯

(1) 2022年度

- 2022年8月：日本OECD共同研究「国際共創プロジェクト：壁のないあそび場-bA- 場開きワークショップ」を開催
- 2022年12月：プロジェクト∞無限大パイロットワークショップの実施
- 2023年3月：日本OECD共同研究月間「ホンキで、インクルーシブ」（“Diversity, Equity and Inclusion (DE&I) in Action” MARATHON OF EVENTS – MARCH 2023）開催
 - 2023年3月10日：OECD E2030グローバルフォーラム 福島とウクライナの生徒の声：放射能と戦争の中で共に生きる

(2) 2023年度

- 2023年8月：「夏の無限大ワークショップ」開催
- 2023年12月：「冬のワークショップ」開催
- 2024年1月～3月：能登震災対応支援の一環として「能登半島地震で被災した子どもの居場所づくり関係者連携会議」を開催
- 2024年3月：OECD教育スキル局アンドレアスシュライヒャー局長能登視察
- 2024年3月：日本OECD共同ワークショップ月間「価値観アップデート～過去を超えて、常識を超えて、壁を超えて、新しいミライを再構築～」実施
 - 2024年3月15日：日本OECD共同研究メインワークショップ「国際連帯&グローバル・シティズンシップに向けたラーニング&ティーチングコンパス」

(3) 2024年度

- 2024年6月：日本OECD共同研究テーマ別ワーキンググループ（日本版TWG）始動
- 2024年8月：能登半島地震からの創造的復興を目指す「能登スクール」を開始
- 2024年9月：「緊急対応時に教師のマインドセットと教師のウェルビーイング」ワークショップ
- 2024年10月：「第6回OECDグローバルフォーラム」を日本で開催
 - 「第6回OECDグローバルフォーラム」レポート発行
 - 同時に開催された「第23回OECD/JAPANセミナー」にて、日本OECD共同研究より「日本からOECDティーチングコンパスへの提言」発表
- 2024年12月：OECD Education2030「プロジェクト∞無限大」生徒・教師国際サミットへ、日本から生徒・教師が、参加国中最多の使節団として参加（生徒・教師国際サミットの様子（速報））
 - 小津中×ウクライナの共創
- 2025年1月～3月：「2025年日本OECD共同研究月間」開催

参考：日本OECD共同研究のホームページ：<https://gakugei-asobiba.org/>